

## I 基礎・基本の徹底と確かな学力の向上

成果指標：①「授業はわかりやすく楽しい」と回答した児童生徒の割合（学校評価資料「児童生徒アンケート」）

②学力調査における前回平均正答率（全国差）に対する伸び率

### 1 自ら学び自ら考える力を育む教育の推進

項目 (実践事項)		目指すべき姿	推進内容
			平成25年度
充 実 施 策	子どもサポーターの派遣 【2211】	教員志望の大学生などを子どもたちの学習支援や学校生活支援を行うサポーターとして学校に派遣し、子どもたちの基礎学力・学習習慣の定着と学習意欲の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日派遣 全小・中・特別支援学校へ各1名</li> <li>・土曜日派遣 小学校17校に各2名 中学校8校に各1名 目標値2,068回</li> </ul>
	補習や補充学習の実施 【2211】	子どもサポーター派遣事業を活用し、放課後や長期休業中などに、補習や補充学習の機会を設けたり、授業の予習や復習と連動した適切な宿題や課題を与えたりすることにより、基礎基本の徹底を図り、児童生徒の学力を向上させます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後、長期休業日、土曜休業日等の補習や補充学習の充実</li> <li>・学習タイムの充実 1週間あたり4回</li> </ul>
	伊丹っ子ルールブック活用事業 【2221】	「伊丹っ子ルールブック」「いたみっこのおやくそくカード」を活用することにより、学校園、家庭、地域をあげて、園児児童生徒の規範意識の醸成や基本的な生活習慣を確立するとともに、自然環境を大切に思う心や命を尊ぶ心の育成をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「伊丹っ子ルールブック」の改訂</li> <li>・学校教育活動において、「伊丹っ子ルールブック」を活用した学習規律の確立、規範意識の醸成</li> <li>・保育活動において、「いたみっこのおやくそくカード」を活用した基本的な生活習慣の定着や規範意識の形成</li> <li>・心の教育推進モデル校での「伊丹っ子ルールブック」の効果的な活用に関する授業研究</li> <li>・「伊丹っ子ルールブック」「いたみっこのおやくそくカード」を活用した家庭、地域における啓発活動</li> <li>・新小学校1年生、4年生、中</li> </ul>

		学校1年生、新入園児への配布
--	--	----------------

### 子どもサポーター派遣事業

児童生徒の基礎学力の向上をめざし、学習上のつまずきの解消や学習意欲を高めるとともに、遊びや相談等児童生徒の学校生活を支援するために、教員志望の大学生等を小・中・特別支援学校に派遣する事業

#### ※連携大学

京都女子大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、相愛大学、大阪青山大学、大阪青山短期大学、大阪総合保育大学、兵庫教育大学大学院、関西学院大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸女子大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和女子大学、園田学園女子大学、武庫川女子大学、関西国際大学、大阪大学



学習会で活動する子どもサポーター  
(神津小学校)



伊丹っ子ルールブック

(左から、小学校低学年編・高学年編・中学校編)



いたみっこのおやくそくカード

## 2 子どもたちの教育課題に応じた学習・指導の実施

### (1) 研究推進

項目 (実践事項)		目指すべき姿	推進内容
			平成25年度
充 実 策	学力調査の実施と分析 【2211】	「伊丹市学習到達度及び学習意識調査」により各学校の実態を継続的に把握し、学力向上策へ活用します。 正答率の向上（全国平均比102）を目指します。 また、家庭学習の定着を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・※全国学力・学習状況調査、伊丹市学習到達度調査の実施</li> <li>・結果の分析をとおした指導方法の改善</li> </ul>
	授業改善プランに基づく授業改善の実施 【2211】	授業内容、方法、カリキュラム等についての学力向上プランの作成と授業改善を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査結果に基づいた学力向上プランの作成、授業改善（各学校）</li> </ul>
	「みんなの学習クラブ」の活用推進	各教科（国社算数理英）の学習ソフトを活用し、児童生徒が学習の見通しを立てたり学習内容を振り返ったりする活動を計画的に取り入れることにより、学習意欲・学力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業、放課後等の補充学習での計画的な活用</li> </ul>
	学校力アップ事業 【2233】	各学校において計画的・継続的に研究活動を行い、児童生徒の「生きる力」を育むとともに、教員の授業力向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査、伊丹市学習到達度調査の結果分析、検証</li> <li>・発表校               <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校6校</li> <li>中学校4校</li> </ul> </li> <li>・モデル校               <ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上推進校                   <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校1校 中学校1校</li> </ul> </li> <li>心の教育推進校                   <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校1校 中学校1校</li> </ul> </li> <li>体力向上推進校                   <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校1校</li> </ul> </li> <li>食育推進校                   <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校1校</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	小中学校社会科副読本 【2221】	社会科学習の中で、社会科副読本（小学校「のびる伊丹市」・中学校「身近な地域伊丹」、隔年編集）を活用して、郷土に関する知識を深め、郷土を愛する心を育みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校「身近な地域伊丹」編集（小学校「のびる伊丹市」平成26年度編集）</li> <li>・社会教育施設等を活用した学習活動の実施</li> </ul>

<p>授業力向上（カリキュラム）支援センターの充実</p> <p>【2233】</p>	<p>教職員が学ぶべきことを学べる環境を整備し、自主研修を促進し、教員の指導力・資質の向上を図ります。</p> <p>年間利用目標人数 4,150人 （うち自主研修利用 1,050人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルティング機能の充実</li> <li>・ワーキングスペースの提供</li> <li>・コンテンツの提供</li> </ul>
---	--	--

**※平成25年度全国学力・学習状況調査**

1. 調査実施日 平成25年4月24日（水）
2. 調査内容
  - (1) 小学校6年生 国語・算数・児童質問紙調査
  - (2) 中学校3年生 国語・数学・生徒質問紙調査
  - (3) 学校質問紙調査
3. 調査対象校（全数調査） 小学校17校 中学校8校

**※平成25年度伊丹市学習到達度調査**

1. 調査実施日 平成25年4月26日（金）
2. 調査内容
  - (1) 小学校6年生 社会・理科
  - (2) 中学校3年生 社会・理科・英語
3. 調査対象校 小学校17校 中学校8校

**平成25年度研究発表予定校園一覧**

<b>幼稚園（4園）</b>	稲野幼稚園	友だちと共いきいきと生活する子をめざしてー運動遊びを通してー
	こやのさと幼稚園	友だちと共に、遊びを創り出す子どもの育成
	せつよう幼稚園	ー一人ひとりが感じ、考え、心ゆらすことを視点にした保育とはー
	すずはら幼稚園	直接体験を通して伝え合い、育ち合う保育の創造ー伝えたい気持ちを育てるー
	稲野小学校	友達と共同して遊ぶ子どもの育成ー思いを伝え合う力を育む保育の工夫ー
<b>小学校（6校）</b>	南小学校	豊かに表現し ともに高め合う子どもの育成ー思考し 伝え合う活動をとおしてー
	桜台小学校	伝える・つながる・高め合う学び
	有岡小学校	ー国語科を通して確かな学力を身につけ、自ら表現できる子どもを育てる
	有岡小学校	主体的に学ぶ子の育成をめざして
	有岡小学校	自ら考え意欲的に学ぶ子をめざしてー言語活動を充実させる工夫を通してー
	有岡小学校	子どもをみつめて、心と体を育てる
	有岡小学校	ー自ら考え、仲間と共に「学ぶ」楽しさを実感できる子の育成ー
	有岡小学校	自ら考え学び合う子を育てるーことばを大切にし互いにに関わり合い、伝え合う授業づくりー
<b>中学校（4校）</b>	東中学校	子どもの表現力や学習意欲を引き出すための目標と評価の一体化 仮説①正しく評価すれば子どもは伸びる②安心して発言できる場をつくれれば子どもの言語活動は活性化できる
	南中学校	確かな学力を身につけるための、人間性豊かな生徒の育成ー新学習指導要領をふまえてー
	北中学校	魅力ある学校づくりー安全・安心の場と楽しい授業の創造ー
	笹原中学校	授業改善ー自ら学ぶ姿勢を大切に、意欲を高める授業づくりー

### 授業力向上（カリキュラム）支援センター

コンサルティング機能の充実…常駐のコンサルタント2名が学級経営、学習指導、教材研究等の相談に応じる。

ワーキングスペースの提供…グループ研修、教材作成、資料検索等に使用できる計11のワークスペースおよびICT機器等を提供する。

コンテンツの提供…教育実践に関する書籍、雑誌、各校の指導案、論文やビデオ、DVD、CD等映像資料などを提供する。

## 学校力アップ事業

### 1 目的

知育・徳育・体育・食育の調和のとれた人づくりを目指して、児童生徒の「生きる力」を育むための教職員の資質向上に係る研究・研修活動に対して助成を行い、特色ある学校づくりを推進する。また、校内での計画的、継続的な研究体制を確立し、学校経営の活性化を図るとともに、その研究の成果を市内の各学校へ広めることにより伊丹市全体の学校力の向上を図る。

### 2 事業内容

#### 【研究推進部門】

各学校がそれぞれの課題や実態に応じた研究テーマを設定し、教職員の資質向上及び学校における教育活動の充実のための研究・研修活動を行う。

その研究・研修活動に対して、以下のような研究形態に応じて助成を行い、必要に応じて指導主事を派遣する。

- (1) 研究発表校 市内または市内外に向けて学校の教育内容を公開する。
- (2) 発表準備校1 次年度、市内または市内外に向けて学校の教育内容を公開する。
- (3) 発表準備校2 次々年度、市内または市内外に向けて学校の教育内容を公開する。

#### 【モデル校部門】

伊丹市教育委員会が「学力向上」、「心の教育」、「体力向上」、「食育」の研究に対して積極的に取り組む学校を以下のような推進校として指定し、その研究・研修活動に対して助成を行う。

##### (1) 学力向上推進校（小学校1校・中学校1校）

これまで実施した「伊丹市学習到達度及び学習意識調査」、「全国学力・学習状況調査」の調査結果から、本市の児童生徒は学習の習慣が十分に定着していないことが明らかになった。

そこで、学習習慣や家庭学習の定着を目的として、夏季休業中、放課後、土曜休業日等の補習学習の充実に取り組む学校を推進校に指定し、児童生徒の学習習慣づくりを図る。

##### (2) 心の教育推進校（小学校1校・中学校1校）

本市において起きた中学生の事件を教訓として、伊丹の子どもたちに、人間としての生き方、他者との関わり方、人生の楽しみ方などを学習させるとともに、社会のルールを守らせ、規範意識の醸成や基本的生活習慣の確立、自然環境を大切に思う心や尊ぶ心を育てることの重要性が再認識された。

そこで、学校における道徳教育を充実させるとともに、学校・地域・家庭において、「伊丹っ子ルールブック」を具体的、効果的に活用する学校を推進校に指定し、心の教育の一層の充実を図る。

##### (3) 体力向上推進校（小学校1校）

これまで実施した「伊丹市スポーツテスト」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」から、本市の児童の運動能力において持久力に課題があることが明らかになった。

そこで、児童の持久力向上や継続的な運動遊び等を中心に据えた体力・運動能力の向上について効果的に取り組む学校を推進校に指定し、児童の体力・運動能力の向上を図る。

##### (4) 食育推進校（小学校1校）

これまで実施した「学習到達度及び学習意識調査」、「全国学力・学習状況調査」、「伊丹市小中学生及び保護者の食生活に関するアンケート」から、児童生徒の「学力」と「食生活」には相関関係があることが明らかになった。

そこで、食育の充実を目的として、児童の食に関する関心、知識や理解を深め、弁当づくりをとおして食育への実践力の育成について効果的な取り組みをする学校を推進校に指定し、児童の食育をとおした健康づくりの推進を図る。

## (2) 国際理解教育

項目 (実践事項)	目指すべき姿	推進内容
		平成25年度
国際理解教育の推進 【9214】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の伝統や文化についての理解を深め、異なる文化や歴史に敬意を払い、様々な国や地域の人々と共生する心や態度を育成します。</li> <li>・在日外国人園児児童生徒等が、自らの民族に誇りを持ち生活できるよう、一人ひとりが理解・尊重し合える学校園・学級づくりを進めます。</li> <li>・国際姉妹都市ベルギー・ハッセルト市、国際友好都市中国・佛山市との教育交流等、国際交流を推進します。</li> <li>・児童生徒に国旗と国歌の意義を理解させ、我が国はもとより、諸外国の国旗や国歌に対して敬意を払う態度を育てます。学校行事等、機会あるごとに国旗を掲揚し、国歌を斉唱します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の先生制度推進事業の活用や外国人学校との積極的な交流</li> <li>・「在日外国人教育ハンドブック」等の活用による国際理解教育の推進</li> <li>・佛山市学生代表団受入事業・中学生佛山市派遣事業の推進</li> <li>・高校生・大学生ハッセルト市派遣事業の推進</li> <li>・学校行事等における国旗の掲揚と国歌の斉唱</li> <li>・各校の指導計画に基づいた教科や特別活動等における指導</li> </ul>
外国人児童生徒等受入事業 【9214】	日本語理解が不十分な帰国児童生徒や外国人園児児童生徒が、学校園や日本での生活に適応できるよう適応指導員を派遣し、学校園における指導体制の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象園児児童生徒の学校園生活への円滑な適応</li> <li>・適応指導員の派遣</li> <li>・対象園児児童生徒の適応状況の把握</li> <li>・対象言語に応じた適応指導員の確保</li> <li>・子ども多文化共生サポーター派遣事業（県事業）との連携した取組</li> </ul>



佛山市学生代表団受入事業  
(伊丹小学校での文化交流)



佛山市学生代表団受入事業  
(荒牧中学校での部活動交流)



ハッセルト市学生代表団受入事業  
(市立伊丹高校での書道体験)

### (3) 環境教育

項目 (実践事項)	目指すべき姿	推進内容
		平成 25 年度
学校園における環境活動の推進 <b>【2221】</b>	伊丹市環境基本計画（第2次）に基づき、環境体験活動や「5R生活」の実践などとおして、環境に関心を持ち、自然に対する豊かな感性や命を尊ぶ心を育みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境体験事業の推進 環境体験実施各校3回以上</li> <li>・自然学校推進事業の推進</li> <li>・グリーンカーテン事業の推進 小学校7校 (緑丘小、桜台小、天神川小、有岡小、昆陽里小、摂陽小、池尻小)</li> <li>・環境マネジメントシステムの実行</li> </ul>

#### 環境体験事業

- (1) 対象: 小学校3年生
- (2) 学習内容  
地域の自然に出かけて行き、地域の人々等の協力を得ながら、自然観察や栽培・飼育などの自然体験活動を通して、命の尊さと環境の大切さを知る。
- (3) プログラム例
- ・里山での体験
  - ・田畑での体験
  - ・水辺での体験
  - ・地域の自然での体験
- (4) 実施校  
平成21年度～: 全校実施

#### 5R生活

- 循環型社会の形成を目指して、ごみの減量や再資源化などに取り組むこれからのライフスタイルのあり方を整理したもの。
- |                 |           |        |
|-----------------|-----------|--------|
| Reduce (リデュース)  | 廃棄物の発生抑制  | 減量化    |
| Reuse (リユース)    | 再使用       |        |
| Recycle (リサイクル) | 再生利用      |        |
| Refuse (リフューズ)  | 不要な物は買わない | 受け取らない |
| Repair (リペア)    | 修理して長く使う  |        |



環境体験事業 (天神川小学校)

### 3 子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じた教育の推進

項目 (実践事項)	目指すべき姿	推進内容
		平成25年度
新学習システムの推進	・新学習システム推進教員を配置し、きめ細やかな指導（少人数授業・35人学級）、教師の専門性を活かした授業（兵庫型教科担任制）等、個に応じた指導を充実し、学力向上を目指します。	・効果的な35人学級の実施（小学校2～4年生） ※小学校1年生は、義務標準法により35人学級編制 ・兵庫型教科担任制の実施（小学校5、6年生） ・効果的な少人数授業の実施（小学校3年生～中学校3年生）
教育の情報化によるわかる授業の推進 【2212】	電子黒板、実物投影機等のICT機器の積極的な活用を進め、指導方法の改善、児童生徒の学習意欲の向上を図ります。	・電子黒板（各校6台） 実物投影機（各校6～8台）の整備、活用 ・授業研究会の実施（年2回）
各種検定の実施 【2211】	各種検定会場を誘致し、チャレンジする児童生徒を支援します。 各種検定に取り組む意欲を持たせることにより、子どもたちの学力向上につなげます。	・各種検定会場の誘致（総合教育センター・各中学校・市立伊丹高校） ・各種検定の推進（英検・漢検・数検・日本語検定など） ・伊丹市優良児童・生徒顕彰への推薦（各学校）
子どもサポーターの派遣（再掲） 【2211】	（P-4）	

※義務標準法：公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律

新学習システム
<p>小中学校において、基礎・基本の確実な定着と個性の伸長を図るための指導体制の構築や指導方法の工夫・改善を図るための教員を各校の状況に応じて加配配置して実施する。</p> <p>①弾力的学級編制 小学校2～4年生において、基本的生活習慣の定着等に効果の高い35人学級編制を実施。</p> <p>②兵庫型教科担任制 小学校5・6年生において、学級担任教員等の交換授業による教科担任制と少人数授業を組み合わせる実施。</p> <p>③少人数授業 主に小学校3年生以上及び中学校において、少人数の学習集団の編制による個に応じたきめ細かな指導を実施。</p>

## 4 学習習慣の定着と読書活動の推進

### (1) 学習指導

項目 (実践事項)	目指すべき姿	推進内容
		平成25年度
家庭学習の確実な定着のための取組 【2211】	家庭との連携のもと、学習の実態にもとづき、「伊丹市家庭学習の手引き」の活用を通して、基本的な生活習慣を身につけさせ、家庭学習の定着を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1日入学で「伊丹市家庭学習の手引き」を配付</li> <li>・学級懇談会、家庭訪問等で活用</li> <li>・全国学力・学習状況調査の分析</li> </ul>

### (2) 図書館教育

項目 (実践事項)	目指すべき姿	推進内容
		平成25年度
学校における「伊丹市子ども読書活動推進計画」の実行 【2213】	「伊丹市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館教育担当者・読書指導員・全教職員の連携のもと、学校図書館・ことば蔵の積極的な活用をとおして、表現力、創造力の豊かな子どもを育みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館「ことば蔵」と連携した取組</li> <li>・伊丹・本の杜月間の取組</li> <li>・読書週間全校実施</li> <li>・夏休み開放（学校図書館）</li> <li>・「伊丹市子ども読書100選」の活用</li> <li>・全校一斉読書活動の小中特別支援学校全校実施</li> <li>・家庭における読書の推進</li> </ul> <p>1日あたりの目標時間 30分以上</p> <p>小学校の児童一人あたりの 1ヵ月読書目標冊数 11冊（H24 10. 85冊） H24.10月末現在</p> <p>中学校の生徒一人あたりの 1ヵ月読書目標冊数 3冊（H24 2. 89冊） H24.10月末現在</p>

	<p>読書指導員の配置 【2213】</p>	<p>子どもたちへの読書活動を推進するため、小中学校に読書指導員を配置し、学校図書館教育の充実・子どもの読書習慣の定着・ことばの力の育成に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の充実（読書週間、図書館祭りの実施）</li> <li>・学校図書館の整備及び読み聞かせ等の読書教育の推進</li> <li>・貸出・返却及びレファレンス機能の充実</li> </ul>
	<p>学校図書館のデータベース化</p>	<p>学校図書館における図書のデータベース化を推進し、利用の促進を図ります。</p> <p>データベース化 40% (H24 32%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの構築</li> </ul>

<p><b>家庭での学習時間の目安</b> (伊丹市家庭学習の手引き)</p>	
小学校1・2年生	30分
小学校3・4年生	60分
小学校5・6年生	90分
中学校	150分



読書週間の取組 (笹原小学校)



学校図書館での学習 (笹原中学校)



朝の読書タイム (東中学校)

## 5 特別支援教育の推進・充実

項目 (実践事項)		目指すべき姿	推進内容
			平成25年度
校園内支援体制の確立 【2215】	改訂版「今後の特別支援教育のあり方について」(基本方針)に基づき、各学校園において特別支援教育コーディネーターが推進役となり、校園内委員会を設置し、支援体制の充実に取り組み、将来の個々の児童生徒の自立を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーター研修、特別支援学級担任研修の実施 (各年3回)</li> <li>・学校生活支援教員・特別支援教育支援員の配置</li> <li>・チューリップ学級保育補助員の配置</li> <li>・介助員の配置</li> <li>・交流及び共同学習の推進</li> <li>・附則第9条本についての検討</li> <li>・特別支援教育に係る教員研修の実施 (920人)</li> </ul>	
個別の指導計画・個別の教育支援計画の活用 【2215】	学校園における個別の指導計画や、乳幼児期から就労までを見通した個別の教育支援計画を作成し、一貫した教育支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートファイル・個別の支援計画「ステップ★ぐんぐん」の作成 (300人)</li> <li>・個別の指導計画の作成</li> </ul>	
なかよしキャンプ事業の推進 【2215】	障がいのある児童生徒がともに体験活動を行うことにより、仲間との友情を深め、よりよい人間関係づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよしキャンプの実施(平成25年7月)</li> </ul>	
伊丹市特別支援ネットワーク事業の推進 【2215】	学校園・医療・福祉・就労等の関係機関によるネットワークづくりを進め、長期的かつ教育的な視点からの一貫した支援体制を整備します。また、ワーキンググループを設置し、諸課題について検討を行い、全市的な特別支援教育の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携協議会の開催(年2回)</li> <li>・改訂基本方針をふまえた特別支援教育ハンドブックの作成</li> <li>・ワーキンググループ会議の実施(年3回)</li> </ul>	
相談体制の充実 【2215】	・各種相談事業を実施し、障がいのある幼児児童生徒及び保護者へ生活面、発達面における支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科医による「医療相談」(年10回)</li> <li>・発達を専門とする小児科医による「医療発達相談」(年10回)</li> <li>・言語聴覚士による「ことばの支援教室」(年70回)</li> <li>・相談員による「特別支援教育相談(発達相談)」(随時)</li> <li>・巡回相談、巡回相談調整会議</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「巡回相談」とおして、障がいのある子どもに対する適切な支援について助言を行い、教員の指導力の向上をめざします。</li> <li>・「就学相談」を実施し、適切な就園・就学について支援を行います。</li> </ul>	<p>の実施</p> <p>(市教育委員会、伊丹特別支援学校、県立こやの里特別支援学校、学校生活支援教員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊丹市就学指導委員会の開催</li> </ul>
--	--	--

### 交流及び共同学習

障がいのある子と障がいのない子どもと一緒に参加する活動には、相互のふれ合いを通じて豊かな人間性をはぐくむことを目的とする「交流」の側面と教科等のねらいの達成を目的とする「共同学習」の側面がある。この二つの側面は、分かちがたいものとして捉え、推進していく必要があり、障がいのある子どもの自立と社会参加を促進するとともに、社会を構成する様々な人々と共に助け合い支え合って生きていくことを学ぶ機会となり、ひいては共生社会の形成に役立つものである。

#### 校内外支援体制

- (1) 校内外委員会の設置
- (2) 特別支援教育コーディネーターの指名
- (3) 個別の指導計画の作成
- (4) 個別の教育支援計画の作成
- (5) 関係機関からの支援  
(医療・福祉・相談機関・特別支援学校等)

#### サポートファイル・個別の支援計画 「ステップ★ぐんぐん」

平成21年4月より策定を開始したものであり、発達による課題があり、特別な支援が必要な子どもの自立と社会参加を促進するために、一人ひとりのニーズを正確に把握し、長期的な視点による乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫して的確な支援を行うことを目的とする。

#### 伊丹市特別支援連携協議会

本市の特別支援教育の方向性や教育支援のあり方について、医療・福祉・労働・教育等の関係機関・部局が協議を重ね、LD、ADHD、高機能自閉症等をはじめ、障がいのある幼児児童生徒への総合的な支援体制の整備を進める。協議会にはワーキンググループを設置し、協議会の定める特別支援教育を推進するうえでの諸課題についての検討を行う。

## 6 幼児期の教育の充実

項目 (実践事項)	目指すべき姿	推進内容
		平成25年度
幼稚園教育の充実 【2112】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫を活かした教育課程を編成し、直接的・具体的な体験を通したきめ細やかで特色のある幼児教育の提供に努めます。</li> <li>・幼小の教職員が互いの教育に理解を深めたり幼児と児童の交流活動を教育課程に位置づけたりするなど、幼小の接続を円滑に行います。</li> <li>・幼稚園・保育所在園児の交流保育を進め、幼児理解を深めます。</li> <li>・公私立幼稚園共同研究会を計画的に実施し、連携を強化します。</li> <li>・「いたみっこのおやくそくカード」を活用し、基本的な生活習慣の定着や規範意識の形成を図ります。</li> <li>・「いたみしこどもえほん100選」を活用し、幼児期からの読書習慣の定着を図ります。</li> <li>・神津こども園において、幼保一体化カリキュラムを実施し、幼児教育の充実を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園関係者と小学校等関係者による幼小連携のためのモデルカリキュラムの検討、実施</li> <li>・幼保交流実施 12園+8保育所</li> <li>・幼保合同研修の実施 年間3回</li> <li>・公私立幼稚園共同研究会の開催 年間4回</li> <li>・「いたみっこのおやくそくカード」の活用</li> <li>・「いたみしこどもえほん100選」の活用</li> <li>・幼保一体化カリキュラムの実施・検証</li> <li>・3歳児保育・預かり保育の実施・検証</li> </ul>
子育て支援事業 【2122】	<p>幼稚園・認定こども園が地域の「幼児教育センター」として、その役割や機能を充実させ、子育ての支援活動に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなのひろば事業」「むっくむっくルーム」などと連携</li> <li>・園庭開放、子育て懇談会等の実施</li> </ul> <p>幼稚園のみんなのひろば事業 参加目標延べ人数 1万人</p>
幼稚園ウィーク推進事業 【2112】	<p>公立幼稚園・認定こども園説明会や幼稚園ウィークを実施し、園児と未就園児の交流や親子交流プログラム等を行い、地域に根ざした開かれた幼稚園・認定こども園づくりを進めます。</p>	<p>公立幼稚園・認定こども園説明会、幼稚園ウィークの実施</p>

## 7 魅力ある市立高等学校づくり

項目 (実践事項)		目指すべき姿	推進内容
			平成25年度
充 実 施 策	市立伊丹高等学校 (全日制)	<p>「今後の市立高等学校のあり方について」基本方針に基づいた、さらなる特色化・活性化を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力の向上、個に応じた多様な進路実現など、「特色ある教育内容」を充実します。</li> <li>・学校評価を踏まえた学校運営の改善や、施設の整備・活用に係る検討など、「全日制活性化事業」を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に対応した新教育課程の実施</li> <li>・学校設定教科「ことば文化科」の充実</li> <li>・キャリア教育の推進（「キャリアセンター」の整備）</li> <li>・全日制特色化事業の推進</li> <li>・学校運営パワーアップ事業の推進</li> <li>・部活動の活性化</li> <li>・高大連携の推進</li> <li>・校舎等改修事業の実施</li> </ul> <p>大学進学目標進学率 74.5%（H24 63.5%）</p> <p>全商1級資格目標取得率 （1級1種目以上） 45.0%（H24 44.5%）</p> <p>目標志願者倍率 1.20倍（H24 1.20倍）</p>
	伊丹市立高等学校 (定時制)	<p>勤労生徒としての自覚を促し、広い教養を身につけるとともに、こころ豊かな人間性を養い、人権尊重の精神を備えた人材を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の確実な定着を図り、自ら学ぶ意欲を高め、学力向上に取り組むとともに、地域との連携を深め、地域に根ざした学校づくりを推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある教育課程の実施</li> <li>・地域・学校及び生徒の実態に応じた教育内容の充実</li> <li>・「町の先生制度推進事業」の活用</li> <li>・学校設定科目「地域と学校」の実施</li> </ul>

		<p>「今後の市立高等学校のあり方について」基本方針に基づき、県立阪神昆陽高等学校への発展的統合に向けて取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立阪神昆陽高校と連携を図りながら、定時制教育の一層の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校との定期的な連携協議の実施</li> <li>・スクールバスの運行</li> <li>・伝統の継承</li> </ul>
--	--	---	--



京都語学実習  
(市立伊丹高校)



市高オリジナル商品の販売  
(市立伊丹高校)



体育祭  
(市立伊丹高校)



アイホールでの文化祭ステージ発表  
(伊丹市立高校)



全国生活体験発表大会  
出場  
(伊丹市立高校)



部活動全国大会出場  
(伊丹市立高校)

### 市高キャリアセンター

将来社会人として職業に就く際に必要な能力や態度を育成するキャリア教育の推進に向けて、従来の進路指導室も含めたキャリアセンターを設置する。

同センターでは、進路に関する相談や面接対策、進路・就職・地域情報等に関する図書の閲覧やパソコンによる情報提供など、生徒が自ら進路選択を行っていくための支援を行うほか、大学や地元企業、地域と連携して取り組む様々なキャリア教育の拠点として会議や情報交換などを行うなど、入学後の3年間を通して、計画的・系統的なキャリア教育を推進するための核となることである。

## 8 新たな社会への対応力を育む教育の推進

項目 (実践事項)		目指すべき姿	推進内容
			平成25年度
	ことばの力の育成 【2213】	実生活や実社会に必要なコミュニケーション能力を育むため、すべての教科で子どもたちのことばの力を育てます。	・各教科における言語活動の充実
	ことば科の推進 【2213】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校において、「俳句づくり」、「スピーチ発表」、「作文づくり」をとおして、語彙力やコミュニケーション能力を高め、表現力の豊かな児童を育てます。</li> <li>・学力調査における正答率の向上（全国平均比102）を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことば科全校実施</li> <li>・ことば科指導員の派遣と学級担任による効果的な「ことば科」授業の展開</li> <li>・外部講師の招聘</li> <li>・各校カリキュラムの改善</li> <li>・「ことば科」授業のあり方の検討</li> <li>・「ことば科」についての教職員の研修会（年3回）</li> </ul>
	国際化に対応するための英語力の育成 【2212】 【2213】	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語指導補助員（JTE）を派遣し、学級担任への指導支援や学級担任とJTEとのチームティーチングなどをとおして「外国語活動」を充実させます。</li> </ul> <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校外国語活動との円滑な接続を図ります。</li> <li>・4技能（聞く・話す・読む・書く）を充実させます。</li> <li>・伊丹市学習到達度調査における正答率の向上を目指します。（全国平均比105）</li> <li>・外国人英語指導助手（ALT）と教科担任によるコミュニケーション活動を充実させます。</li> </ul> <p>【高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領を踏まえた英語科におけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校英語教育支援事業の充実</li> <li>・ALT派遣の検討</li> <li>・「伊丹市小学校外国語活動年間指導計画」（改訂版）の推進 市内授業研究発表会の実施（1回）</li> <li>・小学校外国語活動担当者会の実施及び研修の充実</li> <li>・教員研修及び研究発表会の実施</li> <li>・伊丹市学習到達度調査の実施・分析</li> <li>・ALTの派遣</li> <li>・伊丹市中学校英語暗唱・スピーチ大会の充実</li> <li>・英語による授業の実施</li> </ul>

		<p>る指導内容を充実させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTと教科担任によるコミュニケーション活動を充実させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの派遣</li> </ul>
<p>理数教育の充実 【2212】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査、伊丹市学習到達度調査における正答率の向上（全国平均比：算数・数学102 理科[小]102 理科[中]100）を目指します。</li> <li>・「小中学校自由研究推進事業」及び「エジソンくらぶ」・「ガリレオくらぶ」等を通して、児童生徒の自然科学への関心・探求心を高めます。</li> <li>・算数・数学の授業を充実し、日常の事象について筋道を立てて考え、また数理的に考察し表現できる児童生徒を育てます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査、伊丹市学習到達度調査の実施・分析</li> <li>・社会教育施設と連携した体験的な学習の実施 （兵庫県立人と自然の博物館との連携事業）</li> <li>・地域の企業、学芸員等と連携した出前授業の実施</li> <li>・小中学校自由研究推進事業の活性化</li> <li>・エジソンくらぶ（小学生） （年10回）</li> <li>・ガリレオくらぶ（中学生） （年5回）</li> </ul>	
NIEの推進	NIEを活用した授業実践を通して児童生徒の興味関心を引き出し、言語力やメディアリテラシーを育成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NIEに関する研修の実施 （年3回）</li> </ul>	

### NIE

NIEは Newspaper in Education の略で、学校・家庭・社会教育の場での新聞活用を活性化させようという運動。新聞は現代社会の諸課題等について子どもたちの興味関心を引き出す教材であり、情報を取捨選択し、分析能力を養う。



研究発表会における理科授業（西中学校）



ことば科授業（稲野小学校）



エジソンくらぶ（総合教育センター）



学級担任とJTEとのチームティーチング  
による小学校外国語活動の授業（荻野小学校）



伊丹市中学校英語暗唱・  
スピーチ大会  
（伊丹市立産業・情報セン  
ター）